

報道関係者各位

2014年11月19日

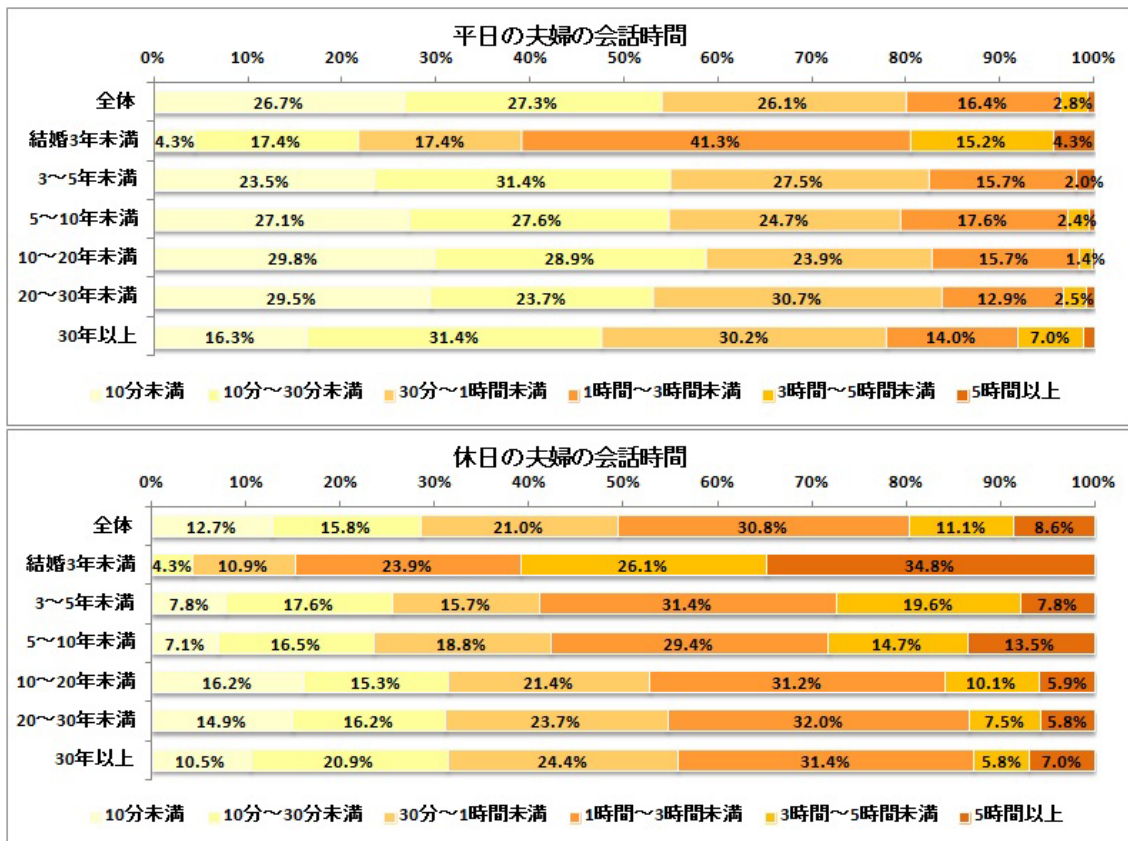
ソフトブレイン・フィールド株式会社

～夫婦のコミュニケーションについての主婦の意識調査～
平日の夫婦の会話時間は“30分未満”の家庭が50%以上！
会話の時間は「増やしたい」が29.5%、「ちょうどいい」が67.1%

フィールドマーケティング支援サービスを提供するソフトブレイン・フィールド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：木名瀬博）では、「夫婦のコミュニケーション」についてのアンケートを2014年11月7日～11月13日に実施しましたので、その結果を報告します。アンケートの対象は、30代～40代の主婦を中心とする当社サービス登録の既婚女性会員、有効回答者数は1,020名（平均年齢44歳）でした。

【調査結果】

(1) 夫婦の会話時間について



(上) 平日の夫婦の会話時間 (下) 休日の夫婦の会話時間 (n=1,020、結婚3年未満 n=46、3～5年未満 n=51、5～10年未満 n=170、10～20年未満 n=426、20～30年未満 n=241、30年以上 n=86)

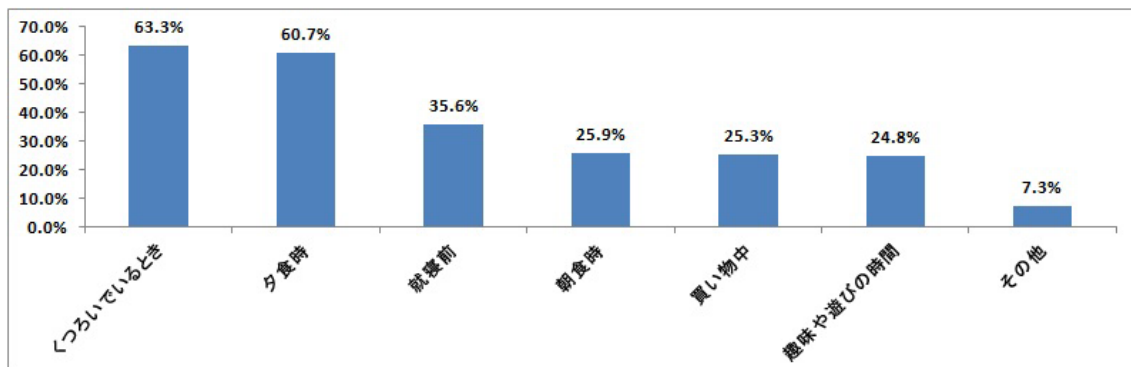
アンケートではまず、平日と休日の夫婦の会話時間について質問しました。その結果、平日では「10分未満」が26.7%、「10分～30分未満」が27.3%、「30分～1時間未満」が26.1%、「1時間～3時間未満」が16.4%、「3時間～5時間未満」が2.8%、「5時間以上」が0.8%でした。

一方、休日の会話時間は、「10分未満」が12.7%、「10分～30分未満」が15.8%、「30分～1時間未満」が21.0%、「1時間～3時間未満」が30.8%、「3時間～5時間未満」が11.1%、「5時間以上」が8.6%でした。

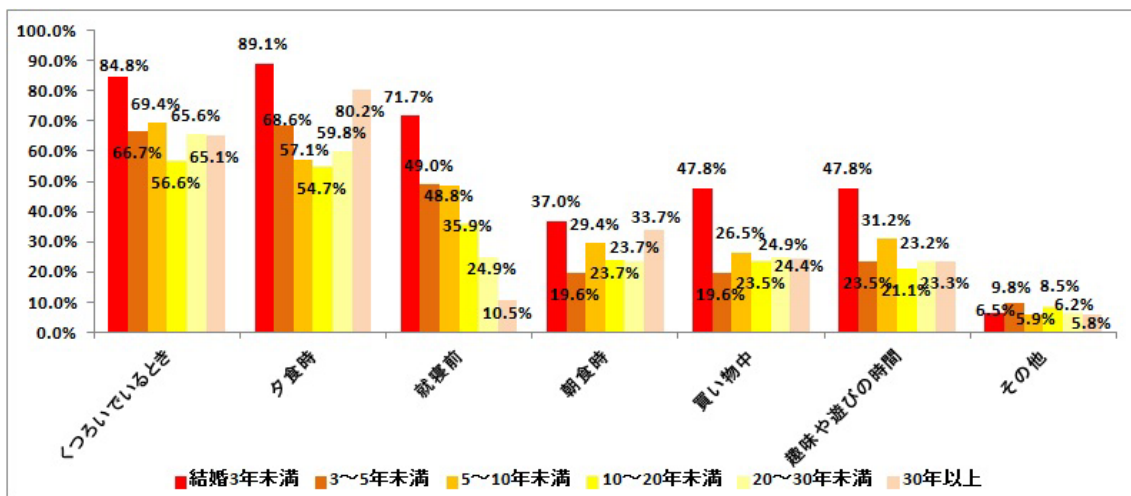
分～1時間未満」が21.0%、「1時間～3時間未満」が30.8%、「3時間～5時間未満」が11.1%、「5時間以上」が8.6%でした。平日では「10分～30分未満」と回答の方が最も多かったのに対し、「1時間～3時間未満」の回答が最も多くなっており、休日は会話の時間が増える傾向が見られました。

また、結婚して3年未満の夫婦では平日でも「1時間～3時間未満」が41.3%、休日では「5時間以上」が34.8%となっており、それ以上の結婚期間の夫婦に比して、会話の時間が長いことがわかりました。

(2) 会話するシチュエーション・内容について



夫婦で会話するシチュエーション【複数回答】(n=1,020)

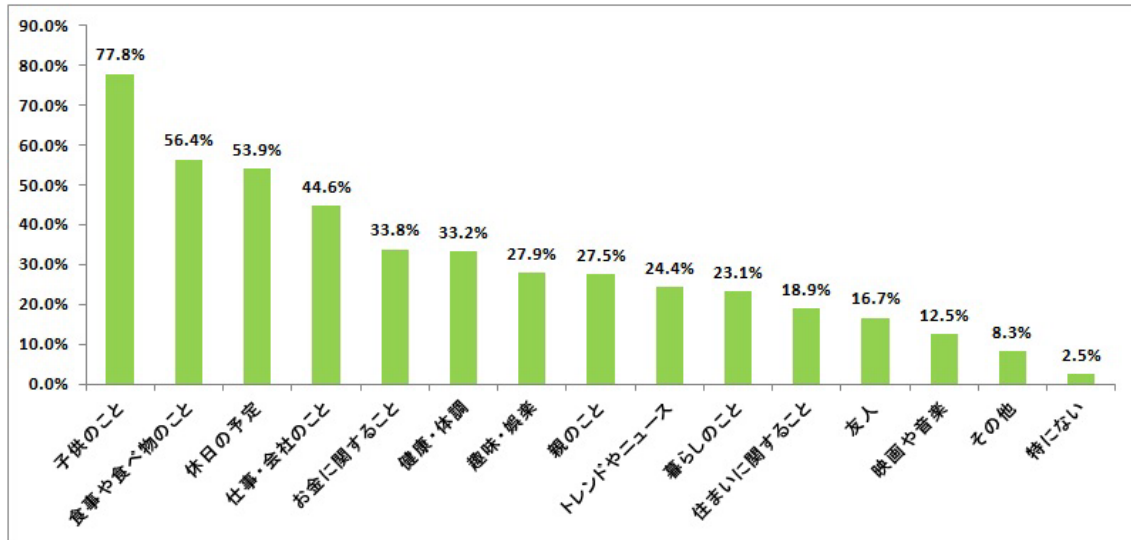


結婚期間別夫婦で会話するシチュエーション【複数回答】(結婚3年未満 n=46、3～5年未満 n=51、5～10年未満 n=170、10～20年未満 n=426、20～30年未満 n=241、30年以上 n=86)

夫婦で会話するシチュエーションについては「くつろいでいるとき」が最も多く63.3%、ついで「夕食時」が60.7%、「就寝前」が35.6%、「朝食時」が25.9%、「買い物中」が25.3%、「趣味や遊びの時間」が24.8%と続きました。会話するシチュエーションについて、結婚してからの期間別で見ると、全体の傾向と大きく異なったのは「結婚3年未満」で、「くつろいでいるとき」が84.8%、「夕食時」が89.1%と8割を超える結果となった他、「買い物中」が47.8%、「趣味や遊びの時間」が47.8%と全体の倍近い数字となりました。

また、「就寝前」の会話は結婚歴が長いほど減るのに対し、その他のシチュエーションでは結婚歴「10年～20年未満」までは減少傾向にありますが、その後は転じて増える傾向に

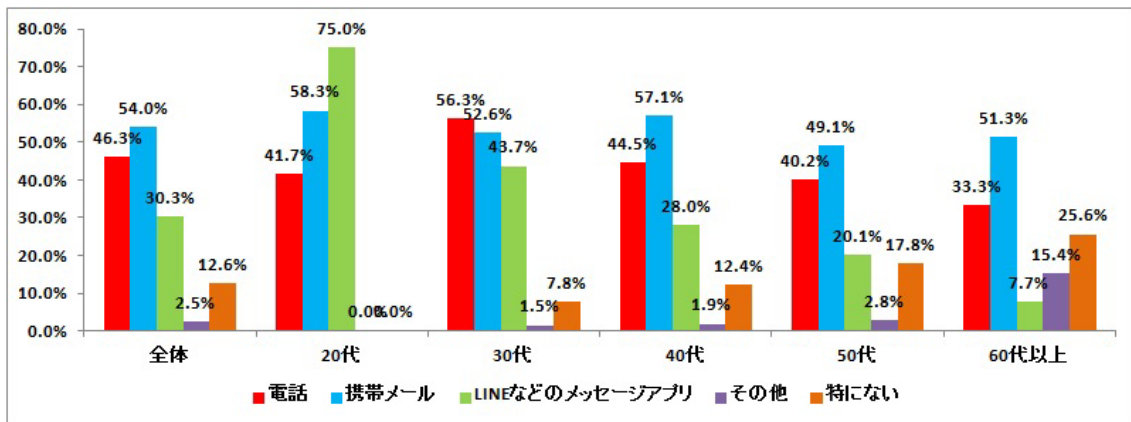
あることがわかりました。



会話の内容【複数回答】(n=1,020)

会話の内容について、よく話すことを3つ挙げてもらったところ、1位は「子供のこと」で77.8%、2位は「食事や食べ物のこと」で56.4%、3位は「休日の予定」で53.9%、4位は「仕事・会社のこと」で44.6%、5位は「お金に関すること」で33.4%でした。

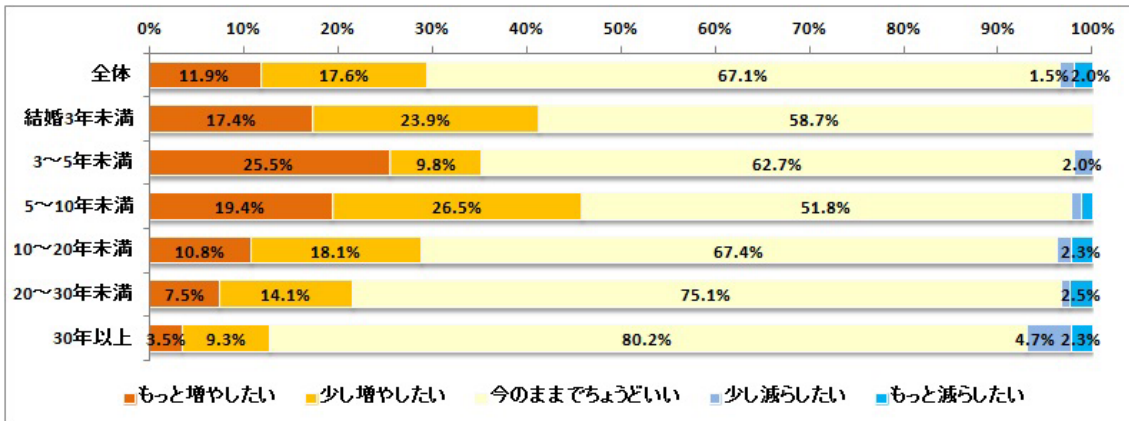
(3) コミュニケーションツールについて



夫とのコミュニケーションツールについて【複数回答】(n=1,020)

夫婦のコミュニケーションでよく使うツールについては、「電話」が46.3%、「携帯メール」が54.0%、「LINEなどのメッセージアプリ」が30.3%、「その他」が2.5%、「特にない」が12.6%でした。妻の世代別の特徴では、20代では「LINEなどのメッセージアプリ」が75.0%と他の世代に比して高い結果となりました。また30代では「電話」が最も多く56.3%だったのに対し、40代以上では最も多いのは「携帯メール」(40代:57.1%、50代:49.1%、60代以上:51.3%)となりました。

(4) 会話の時間・機会について



夫との会話時間について (n=1,020)

アンケートでは、夫との会話を増やしたいかについても質問しましたが、全体では「もっと増やしたい」が11.9%、「増やしたい」が17.6%、「今のままでちょうどいい」が67.1%、「少し減らしたい」が1.5%、「もっと減らしたい」が2.0%でした。

夫婦のコミュニケーションについての具体的なコメントを見ると、「一番下の子どもが、家を巣立って、夫婦で過ごす時間が増え、新婚時代のように会話が増えました。嬉しいことです。」(50代)、「テーブルに向かい合って座ると何もしゃべらないのに、なぜかドライブ中は話が弾みます。休日のドライブは一週間分の出来事を話す時間です。」(40代女性)、「子供を寝かしつけた後、お酒を飲みながら録りためていた番組を一緒に見えています。ホラー系のものが一番盛り上がります。」(40代)といったように、夫婦各様にコミュニケーションを楽しんでいる様子が伺えました。

また、「平日は、生活時間が違うので、ラインで会話をすることが多い。スマホが普及する前は、交換日記のような書き置きノートをつくっていた。」(30代女性)、「私は朝から昼、主人は昼から夜の仕事のためすれ違う事も多いので、毎晩仕事が終わった主人を車で迎えに行き、帰りの車の中での会話や、帰り道に立ち寄るコンビニでの会話、晩酌時の会話を楽しみます。2人ともFacebookをしているので、今こんな気分なんだな、などとわかるのも便利で楽しいです。」(40代女性)というように夫婦のコミュニケーションをサポートするツールとしてLINEやSNSを利用しているコメントも見受けられました。

【調査実施概要】

対象：当社登録の会員

調査方法：当社リサーチサイト「リサれぼ！」を活用したインターネットリサーチ

調査地域：全国

調査期間：2014年11月7日～11月13日（7日間）

有効回答者数：1,020名

属性：女性：20代1%、30代26%、40代48%、50代25%、60台以上4%

【ソフトブレン・フィールド株式会社 会社概要】

ソフトブレン・フィールド株式会社は、ソフトブレン株式会社（市場名：東証1部・4779、本社：東京都中央区、設立年月日：1992年6月17日、代表取締役社長：豊田浩文）のグループ会社として、全国の主婦を中心とした登録スタッフ約50,000名のネットワークを活用し、北海道から沖縄まで全国のドラッグストアやスーパー、コンビニ、専門店など110,000店舗以上をカバーし、営業支援（ラウンダー）や市場調査（ミステリーショッパー、店頭調査など）を実施しています。

当社代表の木名瀬博は、2004年にアサヒビールの社内独立支援制度に応募し、合格第1号事業として独立しました。「木名瀬博のフィールド虎の巻」（URL：<http://www.sbfield.co.jp/column/>）

本社所在地：東京都港区赤坂3-5-2 サンヨー赤坂ビル5階

設立：2004年7月

資本金：151,499,329円

代表取締役社長：木名瀬博

URL：<http://www.sbfield.co.jp/>

【会員登録について】

・パソコン用登録 URL：<https://www.sbfield.co.jp/pc/>

・携帯用登録 URL：<https://www.sbfield.co.jp/m/>

会員登録いただくと、当社からお仕事情報を配信いたします。スーパーマーケットやドラッグストアなどの量販店、公共施設や遊戯施設、専門サービスを提供する全国チェーンのお店から飲食店まで、あなたの生活圏がそのままお仕事のフィールドとなります。

【報道関係お問い合わせ先】

ソフトブレン・フィールド株式会社

戦略企画室 柳原（やなぎはら）/具志堅（ぐしけん）

TEL：03-6328-3630 FAX：03-6328-3631

MAIL：solution@sbfield.com